誇り MATOU 伝統を繋ぐ

平安時代から続く出雲伊波比神社の流鏑馬。毛呂山の人々によって代々伝統が守られ、現代まで繋がる壮大な歴史を持つ一大行事です。本番前の稽古終わりに、毛呂山の流鏑馬で重要な役割を担う御三方へ、伝統を未来に繋ぐことへの思いをうかがいました。

Yabusame of Izumo Iwai-jinja Shrine, which has been performed since the Heian period, is a major event with a magnificent history that has been passed down from generation to generation by the people of Moroyama and continues to this day. In this discussion, we asked the three people who play an important role in the Yabusame of Moroyama about their thoughts on passing on the tradition to the future.

毛呂山町 合併70周年記念 特別座談会

毛呂山の流鏑馬

毎年、春と秋に奉納される毛呂山の流鏑馬。起源は平安時代後期に源義家が奥州平定の後、臥龍山八幡宮に奉納したのがはじまりといわれており、その歴史は960有余年にも及びます。特に秋の流鏑馬は、1か月以上の準備期間を経て、「夕的」といわれる本祭りに臨みます。射手は「乗り子」と呼ばれる13歳前後の3人の少年が務め、大勢の見物客が見守る中、祭馬にまたがって矢を射り、華麗な馬上芸を披露します。

今年も流鏑馬の時期が近づいてきましたね！

下田　乗り子を務めるのは昨年に続いて今年で2回目。馬に乗る練習は半年ほど前から始まっていて、今日は神社の馬場で稽古をしてきました。本番が近づいてきて緊張感も少しずつ高まっています。

入曽　元々、馬に乗った経験がほぼない子が本番では馬上から弓を放ったり、いろいろな馬上芸を披露するわけだから、相当なプレッシャーだよね。本当にすごいよ。

櫻井　子どもが射手を務める流鏑馬は全国でも2箇所しかなくて、その一つが自分たちの住む毛呂本郷地区だけでなく、他の地区とも交流できるから、みんなで「毛呂山の流鏑馬を守っていこう」という戦友というか、同志になれるんです。そのつながりこそ人生の財産だな、と。

下田　乗り子をやっていると、大勢の人が支えてくれているのを感じます。自分の後に続きたいという子がどんどん出てきてくれたら嬉しいですね。

櫻井　その気持ちが大事だよね！自分が乗り子を務めた時も支えてもらったから恩返しという思いで携わっています。子どもや孫の代にまでつなげていきたいし、つながっていってほしいですね。

一同　毛呂山の流鏑馬を今年も成功させましょう！

それぞれの役割を教えてください

入曽　矢取りといって、乗り子の弓や鞭の管理などをするのが私の役割ですね。お殿様である乗り子の側に付いて廻ります。10km以上の道のりを慣れない草鞋を履いて歩くのはなかなかしんどいもんです。でも、今年も頑張りますよ！

櫻井　口取りは主に祭馬のお世話をしますね。本番では手綱を引いて誘導し、時には走る馬を止めることも。体力には自信がありますが、馬の力には敵いませんから10人がかりで制御します。

下田　馬は賢くて繊細。乗り子が緊張して余計な力が入ると、それが馬に伝わってしまうんです。本番はどうしても緊張するけど、「乗り子は選ばれし者」という誇りを持って堂々とやり遂げたいです。

入曽　『殿様』は自分との闘い。そういう意味で孤独だよね。しっかり支えなければと身が引き締まりますね。

毛呂山の流鏑馬に思うことは

櫻井　毎年、地域の人も楽しみにしてくれていると実感しています。祭馬となる馬が稽古始めにやってくると、近所の人や保育園児が集まってきてエサをあげたり、なでたり…。そんなほほえましい光景が見られるんですよ。

下田　流鏑馬の乗り子はかっこいいので学校でも話題になります！

入曽　伝統の祭事を続けていくことが大変な時代だとも思うけれど、無事に終わってみると何にも代えがたい達成感や充実感を味わえるね。町全体に一体感も生まれて。

column

国指定史跡 鎌倉街道上道

毛呂山町歴史民俗資料館の西側には、南北に鎌倉街道が通っています。毛呂山町の鎌倉街道は、県内でも保存状態がとてもよく、文化庁の「歴史の道百選」にも選ばれました。

鎌倉街道は、中世、政治の中心であった鎌倉と、関東諸国や信濃、越後、陸奥を結ぶ主要道路でした。「いざ鎌倉」と鎌倉幕府の御家人たちが街道を行き来するなかで、鎌倉街道沿いで数多くの合戦が行われました。

埼玉県を通る鎌倉街道は、中道と上道です。このうち、毛呂山町を通る鎌倉街道は「上道」で、坂戸市森戸から高麗川を渡り、毛呂山町市場・西大久保の境、川角・大類の境を抜けて、越辺川を渡り、鳩山町今宿へと続いています。

鎌倉街道は、軍事道路であり、物流の幹線道路でもありました。毛呂山町の鎌倉街道には、往時の面影をしのばせる古道の景観が残り、街道周辺からは、中世の寺院跡や宿場の跡などの遺跡も発見されています。

令和4年11月10日付け、毛呂山町の「鎌倉街道上道」が正式に国の史跡に指定されました。今もなお、はるか遠い歴史の物語を感じさせてくれる地です。